



第21回 全国大会のご案内 彩の国つながる通信

会 期：2025年8月23日（土）～24日（日）

会 場：大宮ソニックシティ（対面）

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5（大宮駅西口から徒歩約3分）

テーマ：地域における発達と支援の連続性

～つなぐ・つながる・つなげる～

オンデマンド配信（一部シンポジウムのみ）：8月23日（土）～9月17日（水）

企 画：一般社団法人日本臨床発達心理士会 埼玉支部準備委員会
一般社団法人日本臨床発達心理士会 全国大会運営委員会

【重要な日程】

◇実践研究発表（シンポジウム、口頭発表、ポスター発表）

情報交換会の企画申込み：

3月14日（金）～ ~~4月11日（金）~~ 18日（金） まで延長

◇事前参加申込（参加費 10,000 円）：コンビニ決済 / クレジット決済

5月12日（月）～ 7月18日（金）

◇直前参加申込（参加費 13,000 円）：クレジットカード決済のみ

7月25日（金）～ 8月7日（木）

※大会当日受付はございません。締め切り日をご確認ください。

※振込決済はございません。ご注意ください。

「参加申込」「実践研究発表申込」はWEBからお申込

<https://www.k-gakkai.jp/jacdp21/>

（一般社団法人 日本臨床発達心理士会ウェブサイトからのリンクもございます）



1. 全国大会開催のご挨拶

大会長 挨拶

文京学院大学 柄田 毅

日本臨床発達心理士会 第21回全国大会 埼玉大会を2025年8月23・24両日に大宮ソニックシティで行うことになりました。大会テーマは、「地域における発達と支援の連続性 つなぐ・つながる・つなげる」です。臨床発達心理士による支援は、人としての生涯にわたる発達、対象者その人の発達の連続性、そして、地域における生活や支援に関わるさまざまな連携が基本的な視座と言えます。これら発達の観点による実践を念頭に、今大会のテーマとしました。

人間の発達及びその支援に関する研究と実践は、長年の成果を基盤として新たな理論や枠組み、研究手法、指導プログラム等が出現し、併せて、社会的な事象や要請にも影響を受けていると思います。近年では、ICT等の科学技術・イノベーションに関する発展と普及を反映したSociety 5.0に関して、その未来社会像を「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」（内閣府、第6期科学技術・イノベーション基本計画、令和3年3月26日閣議決定）としています。これからの地域社会における生活は、これまで以上に急速な変化や想定外の展開等が予想される一方、未来社会の目標にウェル・ビーイングを置いていることに注目したいと思います。この他、一般的な広がりがある持続可能な開発目標（SDGs）のうち、小さい数字の目標は人の生命や存在、教育等に関する内容を示しています。これら現代的事項を踏まえて、人間の発達とその支援は現在そして未来の社会においても基本的領域と考えます。その中心的な専門性として臨床発達心理士があり続け、支援等の実績を未来に継承（つなぐ）するために、会員個人による実践とそれによる示唆や英知を会員間で共有（つながる）して、支援対象となる人たちのウェル・ビーイングが実現するように取り組む（つなげる）ことが求められているように思います。このような願いを実現する機会及び場所として、この大会が機能することを期待しています。

今大会の会場は、JR線、新幹線など、たくさんの路線や人の集まる大宮駅が最寄り駅です。また、埼玉県の木はケヤキで、空に向かって扇型に広がることから、木陰に人が集まる木と言えます。これらになぞらえて、たくさんの皆様にお集まりいただくように準備しています。全国の皆様を、ここ埼玉でお待ちしています。



本務校からみたケヤキの木

理事長 挨拶

帝京大学 近藤 清美

第21回全国大会は、久々に首都圏で行います。学術的な学会とは異なり、臨床発達心理士会の全国大会は全国の支部を順番に回っていきます。全国大会は、私たちの職能を高める研修の場であるとともに、交流の場であり、実践研究の発表の場です。今回も、実践研究発表をポスター発表形式で行うという新しい試みを導入しました。臨床発達心理士会が一般社団法人として独立してから3年目、着実に職能団体としての機能を果たすべく進歩しているといえます。

世界的に政治情勢が刻々と変化し、様々なところで分断が生じています。わが国では物価高騰で生活苦にあえぐ人々が増えて、ますます生きづらい世の中になってきました。こうした中で、「誰もが人として尊重され、幸せに自分なりの発達を遂げる」ことの支援をする臨床発達心理士の役割が重要になってきました。その責務を全うするためにも、研鑽を積み、お互いから学ぶ全国大会は貴重な機会です。皆様がこぞって全国大会にご参集くださることを切に願うものです。

本大会の成功に向けて、大会長の柄田 毅先生を始めとして、埼玉支部の役員の皆さまには2年にわたり準備に奮闘していただきました。心より感謝いたします。

全国大会運営委員会より

横浜国立大学 後藤 隆章

今回の埼玉大会では、大会テーマのキーワードでもある「つなぐ・つながる・つなげる」を重視し、士会会員の皆様が全国大会に参加したことをきっかけとして、会員同士との情報交換や交流を体験できるように内容を企画しました。参加者のみなさんにとって主体的な学びの場となるように、職能向上セミナーではグループワークやペアワーク、実践演習の機会を数多く設定し、臨床発達心理士として求められる臨床実践力の向上が図れるように工夫を図りました。さらに、参加者のニーズが高い会員同士の情報交換会も、前回に引き続き開催します。ぜひ、意見交流の機会を活用してください。

また、会員の日頃の臨床実践や活動とその成果を発表する新たな取り組みとして、臨床実践研究発表の中にポスター発表を新設しました。従来の口頭発表やシンポジウム形式での発表に加えて、発表者が聴衆と自由闊達に意見交換を行うことで新たな価値観や知見が創造され、地域での臨床発達支援活動の充実に寄与することができれば幸いです。

II. 会期・タイムテーブル（予定）

時間	8月23日（土） 1日目					
9:00 ~ 10:30	埼玉支部企画 一般公開 シンポジウム	職能向上セミナー ①	実践研究発表①		書店 物販	フリースペース
11:00 ~ 12:30			実践研究発表②			
12:30 ~ 13:00	大会長・理事長挨拶・会務報告・次期大会長挨拶（VTR）					
13:30 ~ 15:00	埼玉支部企画 多職種連携 事例検討ワークショップ	職能向上セミナー ②・③	実践研究発表③	情報交換会①		
15:30 ~ 17:00			実践研究発表④			
18:30 ~ 20:30	懇親会（交流会）					

時間	8月24日（日） 2日目					
9:00 ~ 10:30	大会企画 一般公開 シンポジウム	職能向上セミナー ④	実践研究発表⑤（8:45開始）		書店 物販	フリースペース
10:45 ~ 12:15			実践研究発表⑥			
12:15 ~ 13:00	休憩（支部会員交流）					
13:00 ~ 14:30	職能向上セミナー⑤		実践研究発表⑦	情報交換会②		
15:00 ~ 16:30			実践研究発表⑧			

- ※1 従来の実践セミナーA・Bは、実践研究発表（シンポジウム・口頭発表・ポスター発表）に統合されました。
- ※2 対面開催のみで開催され、オンラインでの配信はありません。
- ※3 実践研究発表（シンポジウム）のうち、最少1.5時間×8講座（合計12時間分）をオンデマンド発表として配信します。
- ※4 オンデマンド配信 8月23日（土）～9月17日（水）まで

※今後、予定を変更することがあります。随時ホームページに最新情報を公開します。

実践研究発表、職能向上セミナー、埼玉支部企画一般公開シンポジウム、埼玉支部企画多職種連携事例検討ワークショップ、大会企画一般公開シンポジウムでは、ポイントを申請いたします。各プログラムにおけるポイントの有無、ポイント数については各自ご確認をお願いいたします。大会の情報は「大会ホームページ」に掲載いたします。

III. プログラム（予定）

#は非会員

1. 埼玉支部企画 一般公開シンポジウム
 「地域の多職種連携によるコミュニケーション支援」
 企画： 臨床発達心理士会 埼玉支部
 司会： 森脇 愛子（青山学院大学）
 講演講師：藤野 博（東京学芸大学）
 その他、埼玉県内の地域発達支援の取り組みを紹介

2. 埼玉支部企画 多職種連携のための事例検討ワークショップ(士会会員限定)
 企画・司会： 森脇 愛子（青山学院大学）
 ファシリテーター： 飛田 孝行（東京小児療育病院），重森 知奈（帝京平成大学）
 生駒 花音（東京小児療育病院），成田 まい（秋田こどもと心の発達クリニック）
 ・・・・ほか数名の多職種とともに
 アドバイザー：藤野 博（東京学芸大学）

3. 全国大会運営委員会企画 一般公開シンポジウム
 「教育現場における合理的配慮の現状とこれから」
 企画： 全国大会運営委員会
 （前半）講演： 立脇 洋介（九州大学）#
 （後半）トークセッション：立脇 洋介（九州大学）#
 村田 淳（京都大学）
 諏訪 絵里子（目白大学）#

4. 職能向上セミナー（各セミナーの参加人数には制限があります）
 ※参加希望の方は、大会参加申込時に合わせてお申し込みください。
 定員を超えた場合には抽選があります。

	テーマ	講師等	定員
①	絵本で広げる療育の遊び	講師 坂上 裕子（青山学院大学）	80人
②	WISC-Vに基づくアセスメントと支援の組み立て	講師 吉村 拓馬（鎌倉女子大学）	300人
③	音声教材の活用実践演習	講師 風早 史子 #（AccessReading）	50人
④	障害者における法の公平なアクセス支援スキル獲得のための参加型演劇ワークショップ	講師 堀江 まゆみ（白梅学園大学） 小出 薫 #（弁護士）	80人
⑤	心理発達支援のためのアセスメントの組み立てと活用	講師 諏訪 絵里子 #（目白大学）	300人

5. 実践研究発表（シンポジウム）

臨床発達心理士として理解しておくことが重要となる、最新の学術的知見、地域との関わり、新しい研修法など様々なトピックについてのシンポジウムを行います。これまでの全国大会において開催されていた実践セミナーAとBの区分けを廃止し、実践研究発表（シンポジウム）として募集を行います。また、従来の実践セミナーAでは、非会員の登壇者に講師料・旅費をお支払いしていましたが、廃止になります。

日本臨床発達心理士会に設立されている各委員会だけでなく、どの会員の方でも企画することが可能です。なお、一部は、オンデマンド配信専用の発表として配信します。

6. 実践研究発表（口頭発表）

日本臨床発達心理士会の会員が、日頃行っている実践や研究、事例、調査、療育・教育実践などを会場において口頭で発表する場です。自分自身の実践を振り返り、同じ実践をしている仲間と意見交換をし、さらに専門的立場からのスーパーバイズを受けるよい機会となります。領域的に近い発表3件を組み合わせたものを1セッションとし、90分で構成されます。

7. 実践研究発表（ポスター形式）

埼玉大会より新設された発表形式です。口頭発表と同様に日頃行っている実践や研究、事例、調査、療育・教育実践についてポスターを掲示し発表を行います。

発表者は冒頭に発表概要について参加者全体に説明をした後、各ポスターボードの前で座長のもと発表、および意見交流を行います。部屋の中では、参加者が興味関心のあるポスターの場所に移動し発表者と自由に意見交流を行います。発表者の在籍時間は90分です。

部屋を出入りする際は、更新ポイントの付与のため、すべての人の入退室チェックが行われます。

8. 情報交換会

参加者同士が、共通のテーマのもと、自由に情報交換・実践交流をする場です。企画希望の会員は発表の申込時に情報交換会のお申し込みを行ってください。そのテーマに関心のある会員が自由に参加し、交流します。（更新ポイントの付与対象ではありません）

9. 全国各支部の取り組みポスター発表（職能職域向上委員会企画）

各支部の取り組みについて、ポスター発表を行い、支部会員在籍のもとで情報交換・交流を行います。1日目と2日目の昼休みに実施予定です。

10. 大会長・理事長挨拶・会務報告・次期大会長挨拶（会場にて動画配信）

8月23日（土）12:30～13:00 会場のスクリーンにて上映

11. 懇親会

8月23日（土）18:30～20:30

会場：高ようじ 大宮店（ダイワロイネットホテル大宮西口内）

参加費：8,000円

（事前申込制）

IV. 職能向上セミナーについて

職能向上セミナーでは、参加者がグループワークやペアワークなどの演習を通じて臨床発達支援に必要な職能向上を目指します。

時 間	8月23日(土)	
9:00～ 12:30	①絵本で広げる療育の遊び(定員80人)	
13:30～ 17:00	②WISC-Vに基づくアセスメント と支援の組み立て (定員300人)	③音声教材の活用実践演習 (定員50人) ※各自でデバイスの準備が必要

時 間	8月24日(日)	
9:00～ 12:15	④障害者における法の公平なアクセス支援スキル獲得のための 参加型演劇ワークショップ(定員80人)	
13:00～ 16:30	⑤心理発達支援のためのアセスメントの組み立てと活用 (定員300人)	

- ※ 同じ時間帯に複数の職能向上セミナーを申し込むことはできません。
- ※ 申し込み方法は、後日大会ホームページにてお知らせします。
- ※ 定員を超えた場合には抽選を行います。
- ※ プログラムによっては追加費用や準備物が必要になることがあります。
- ※ 開催時間は変更する可能性がありますのでご注意ください。
- ※ 詳細は、大会ホームページにて各自ご確認をお願いします。

V. 実践研究発表について

<発表全体にかかる留意点>

- 発表に際しては、一般社団法人日本臨床発達心理士会倫理綱領、臨床発達心理士倫理綱領をご確認してください。



一般社団法人 日本臨床発達心理士会 倫理綱領



臨床発達心理士 倫理綱領

- 全ての発表において、事例の写真や名前、年齢などの個人が特定される情報を載せないように、倫理的な配慮を十分に行ってください。かつ、著作権に十分ご注意ください。
- 必要に応じて利益相反（COI）の情報を開示してください。
- 実践研究発表に関して事前に査読があります。特に倫理面について慎重に審査されます。（士会の委員会、支部、テーマ別研究会が企画するシンポジウム形式の発表は除きます。）
- 投稿を予定している実践は、対象者・保護者・所属機関長などに対して必ず文書による説明と依頼を行い、文書による承諾を得て、発表内容にその旨を記載してください。
- 臨床発達心理実践研究の巻末に「臨床発達心理実践研究 倫理チェックリスト（投稿・寄稿者用）」がありますので、参考にしてください。

実践研究発表（シンポジウム）について

シンポジウムの研究発表は、内容によって対面、またはオンデマンド配信のいずれかにより実施します。発表申込時点で実施形式についての希望が出せますが、部屋の数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。実施形式については後日、発表申込者に連絡をいたします。

対面の場合：シンポジウムの時間は90分です。司会・座長をもとに特定のテーマに関して発表者・話題提供者が意見交換をし、議論を深めます。会場にはHDMI接続ができるプロジェクターを用意しております。

オンデマンドの場合：指定の合言葉を入れた90分の動画を作成し、大会申し込みサイトにお送り下さい。動画には、指定の「合い言葉」を表示させてください。また、動画は1ファイル、30分程度に分割してください。各ファイルサイズは500MB以内でお願いします。動画（mp4）および当日配布資料（PDFデータ）は、6月27日（金）までに、大会申し込みサイトからお送りください。なお、180分をご希望の場合は、別途ご連絡をください。

実践研究発表（口頭発表）について

対面で実施します。実践研究発表1件の発表は、発表時間20分と質疑応答・コメント10分の計30分です。実践研究発表の登壇者は、指定の時間前に指定会場にて、投影等の確認をしてください。会場にはHDMI接続ができるプロジェクターを用意しております。パワーポイント等をスライド投影で提示することが出来ます。（詳細は、後日、発表者に連絡いたします。）

実践研究発表（ポスター）について

会員が行っている臨床、調査、療育・教育実践などについてのポスターを掲示し、自由討論形式により発表者と質問者が個別に意見交換を行い、近接領域の専門家からスーパーバイズを受けられる機会となります。ポスター発表は、20件まで受け付けます。

ポスター発表は、会場に設置されるパネルの指定番号の位置に発表10分前までに貼付し、ポスター掲示は最短で90分とします。加えて、プログラムで指定された責任在席時間90分の自由討論を満たすことで、正式発表とみなされます。詳細は大会HPをご確認ください。

VI. 参加方法について

1. 参加申込期間

◇事前参加申込（参加費10,000円）：5月12日（月）～7月18日（金）

決済方法：コンビニ決済 / クレジット決済

◇直前参加申込（参加費13,000円）：7月25日（金）～8月7日（木）

決済方法：クレジットカードのみ

【重要】実践研究発表の筆頭発表者、連名発表者、企画者、連名者は5月30日（金）までに、参加登録および参加費の納入をお願いいたします。

2. 参加申込における注意事項

- ◆ 全国大会に参加しポイントを取得するためには、一般社団法人 日本臨床発達心理士会の正会員である必要があります。
- ◆ 一般社団法人 日本臨床発達心理士会へ未入会、または2025年度会費が未納の方は、オンライン参加登録システムの登録資格がございません。参加登録前に、入会および会費の納付を先に済ませてください。
- ◆ 大会当日受付はございません。締切日（8月7日）にご注意ください。
- ◆ 参加費の振込決済はございません。

3. オンライン参加登録

第21回 全国大会のウェブサイトより参加登録を行ってください。

<https://www.k-gakkai.jp/jacdp21/>



4. 大会参加費の納入

事前大会参加費は【クレジットカード決済】または【コンビニ決済】にて納入してください。直前参加申込（7月25日～8月7日）はクレジットカード決済のみ可能です。納入された費用はいかなる理由（災害、交通事故など）であっても返金はしません。

5. 受付完了

『オンライン参加登録』と『大会参加費の納入』をもって参加受付完了となります。

6. IDとパスワードの送付

8月下旬に、大会参加（オンデマンド）のためのID、パスワードがメールで送られます。大切に保管し、期日になればその情報を使用してログインしてください。

オンデマンドの視聴方法とポイントの発行について

オンデマンド企画の視聴は、各自の大会参加IDと個別の大会参加パスワード（8月下旬にメールにて別途送付されます）を使ってログインします。そこに掲載されている企画（動画）は自由に視聴できます。

ポイントについてです。視聴確認のため動画中に「合い言葉」が表示されます。企画（動画）を視聴した後、合い言葉確認画面になりますので、合い言葉を入力してください。それでポイント申請は完了です。

研修を深めるために、企画をどれだけでも視聴していただくことができますが、発行されるポイントは最大4ポイントです。

VII. 実践研究発表、情報交換会の申込みについて

実践研究発表申込み、情報交換会の企画申込み

3月14日（金）～ 4月11日（金） 18日（金）まで延長

<実践研究発表について>

1. 筆頭発表者、企画者の資格

2025年3月31日現在、一般社団法人日本臨床発達心理士会の正会員であり、2025年度の年会費を納入済みであること。発表申込締切日までに企画費の納入が完了していること。

2025年5月30日（金）までに大会参加申込、大会参加費の納入が完了していること。

2. 申込み手続き

実践研究発表の筆頭発表者、企画者の方は、以下の手続きを行ってください。

(1) 実践研究発表の企画申込み、原稿投稿

第21回全国大会のホームページより、発表・企画申込および企画費・発表費の納入を行ってください。

<https://www.k-gakkai.jp/jacdp21/>

(2) 表示される手順に従って発表・企画申込、企画費・発表費の納入および原稿投稿を進めてください。なお、先に申込みのみ行い、原稿投稿は後日行うことも可能です。また、申込み後の申込み内容の変更や確認、投稿原稿の追加や変更も期間内であれば同ページより行えます。

(3) 投稿された原稿について

- ① 社会的妥当性を満たし発表によって社会的貢献に寄与するもの
- ② 倫理的問題に抵触する記載が認められないこと
- ③ 書式・形式面において実践研究発表の体裁をなしていること

上記、3点から査読した後、採否結果を2025年6月上旬までに、投稿時に登録されたアド

レスにメールにて通知します。場合により、それまでに査読委員とやりとりをして頂くこともあります。

3. 大会参加費、および実践研究発表に関する企画費・発表費の納入

- (1) 発表申込時に、実践研究発表の企画費・発表費 4,000 円が請求されます。実践研究発表の企画費・発表費は、発表・企画に先立って原稿を査読するための諸経費であり、発表・企画が取り消しとなっても、返金はいたしません。ただし、士会の委員会、支部、テーマ別研修会が企画するシンポジウム形式の発表の企画費は不要です。
- (2) 実践研究発表の企画費・発表費は【クレジットカード決済】または【コンビニ決済】にて納入してください。
- (3) 2025年5月30日（金）までに大会参加申込、大会参加費の納入を完了させてください。申込みをされても参加費、実践研究発表の企画費・発表費の納入がない場合は申込みキャンセルとみなします。必ず締切りまでに納入してください。

4. 発表要件

大会論文集への掲載、口頭発表、質疑、時間枠（1時間30分）の在席を満たすことにより正式発表として認められます。筆頭発表者、企画者となれるのは大会期間中1回です。

5. 実践研究発表の連名発表者（企画者以外の司会者、話題提供者、指定討論者など）

注）一般社団法人日本臨床発達心理士会 非会員の方は連名発表者になることはできません。

- (1) 連名発表者、連名者の資格
実践研究発表は筆頭発表者と共同で行ったものであること。
- (2) 2025年度の年会費を納入済みであること。
- (3) 大会参加の事前申込みの手続き（オンライン参加登録と大会参加費の納入）を締切りまでに行っていること。
- (4) 連名発表者、連名者は大会参加の事前申込および参加費の納入手続きを5月30日（金）までに行ってください。

<情報交換会について>

1. 情報交換会 企画者

- (1) 情報交換会企画者の資格
2025年3月31日現在、一般社団法人日本臨床発達心理士会の正会員であり、2025年度の年会費を納入済みであること。また、大会参加申込み、大会参加費の納入を参加申込締切りまでに行っていること。
- (2) 情報交換会企画申込み
第21回全国大会ホームページ <https://www.k-gakkai.jp/jacdp21/> から実践研究発表の企画申込と同様の方法にてお申し込みください。
- (3) 資料が必要な場合には各自で用意してください。

VIII. 原稿の投稿について

1. 原稿投稿における注意点

- (1) 実践研究発表の企画申込の後、投稿システムを通して原稿の投稿を行ってください。投稿原稿の追加や変更も同ページより行えます。
- (2) 2025年4月~~11日(金)~~18日(金)までに行ってください。
- (3) 原稿はA4サイズにMS Wordで作成し、PDF形式に変換した上で、申込システムより投稿してください。A4サイズのまま印刷されます。
- (4) 原稿には、ヘッダー、フッター、ページ番号を記載しないでください。
- (5) 大会論文集はPDF版のみとなります(印刷冊子はありません)
- (6) PDF版のみのため、カラーでの入稿も可能です。
- (7) 実践研究発表投稿原稿に、事例の写真や名前、年齢などの個人が特定される情報を載せないように、倫理的な配慮を十分に行ってください。
- (8) 実践研究発表に事例報告を投稿される場合、必ず原稿投稿前に、支援にかかわる人(支援対象者、保護者、所属長、事例に密接にかかわる人、その他関係者)に説明を行い、その了承を得ている旨を原稿中に明記してください。
- (9) 必要に応じて利益相反(COI)の情報を開示してください。

2. 内容について

(1) 実践研究発表(口頭発表・ポスター発表)

実践研究としての水準やまとまりを考慮して、目的、方法、結果、考察などを明確に記述してください。事例報告者は事例報告としての水準やまとまりを考慮して事例の中身を明確に記述してください。発表内容を下の書式に従ってA4用紙1枚にまとめてください。

倫理的配慮は必ず記載してください。COIについては必要に応じて記載してください

(1-2行目) 題目	
(3行目) 発表者氏名	
(4行目) (所属機関)	
[目的]	[結果]
[方法]	[考察]
[倫理的配慮]	[結論]

必要に応じてCOIについて記載する

実践研究発表
口頭発表・ポスター発表用

(2) 実践研究発表（シンポジウム）

1件につき見開き2ページになります。口頭発表・ポスター発表と同様に、題目と、題目の下に企画者、司会者、話題提供者、指定討論者の順に氏名と所属を全角文字で記述してください。本文には、企画趣旨と各話題提供の要旨などを記述してください。倫理的配慮について忘れずに記載してください。**要旨はプログラムにも掲載されます。**

<p>(1~2行目) 題目</p> <p>(3行目) 企画者: 氏名(所属機関)</p> <p>(4行目~) 司会者: 氏名(所属機関)</p> <p>話題提供者: 氏名(所属機関) 氏名(所属機関) 氏名(所属機関)</p> <p>指定討論者: 氏名(所属機関)</p> <hr/> <p>[企画趣旨]</p> <p>[話題提供の要旨]</p>	<p>[話題提供の要旨]</p> <p>[話題提供の要旨]</p> <p>[話題提供の要旨]</p> <p>[話題提供の要旨]</p>
---	---

実践研究発表（シンポジウム）用書式

IX. プログラム・論文集の配布について

大会プログラムは、大会ホームページ上に掲載し、紙の冊子では配布しません。7月上旬にプログラムの閲覧に関する情報を全会員に送りする予定です。

X. 大会関係諸費用一覧

参加種別	払込者	参加費	備考
事前 大会参加費	参加者	10,000 円	5月12日(月)～7月18日(金) クレジットカード決済またはコンビニ決済 ※発表者・連名発表者および企画者・連名者は5月30日(金)までに申込・参加費納入が必要
直前 大会参加費	参加者	13,000 円	7月25日(金)～8月7日(木) クレジットカード決済のみ
実践研究発表 シンポジウム:企画費 口頭・ポスター:発表費	企画者 筆頭発表者	4,000 円	発表・企画申込時に請求 4月11日(金)18日(金)までに納入

1. 懇親会(交流会)：会期1日目の夜に開催いたします。また、開催地支部、次年度開催地支部の方とも交流できる機会となります。ぜひ皆様ご参加ください。申込は参加申込に合わせてのお申し込みとなります。詳細は決定次第、ホームページに記載いたします。
2. 託児について：ホームページにて情報を公開します。
3. 宿泊のご案内、ご紹介はございません。各自にてご用意ください。

XI. 更新ポイントについて（予定）

参加者が取得できるポイントは「更新のためのポイント表」改定版8版に相当します。今後、ポイント表が改訂される可能性がありますので最新版をご参照ください。

本大会で取得できる最大ポイントは4ポイントです。情報交換会、懇親会を除くすべてのプログラムにおいて、発表者と参加者ともに3時間のプログラムで1ポイント、1.5時間以上3時間未満のプログラムで0.5ポイントです。

※大会参加申込みは、オンライン参加登録をしてから、参加費を納入してください。

XII. 大会当日までの諸手続き日程

日程	発表・企画 実践研究発表 ：筆頭発表者・企画者 情報交換会：企画者	連名者・連名発表者 実践研究発表 連名発表者	大会参加
3月14日（金）	発表・企画申込 受付開始		
4月11日（金） 4月18日（金）	<u>発表・企画申込 締切</u> 原稿投稿入稿締切 発表・企画費、および 筆頭発表者、企画者 納入締切		
5月12日（月）		大会参加申込 受付開始 ※懇親会、連名発表者、シンポ等登壇者申込受付	
5月30日（金）		<u>大会参加申込・参加費 納入締切</u> ※発表者、企画者、連名発表者、連名者のみ	
6月上旬	採否連絡		
7月上旬	「大会プログラム」をサイト掲載、情報の送付（全会員）		

7月18日(金)	事前参加申込(参加費10,000円) <u>締切</u>
7月25日(金)	直前参加申込(参加費13,000円) 受付開始(クレジット決済のみ)
8月7日(木)	直前参加申込(参加費13,000円) <u>締切(大会参加への最終締切)</u>
8月下旬 ※大会3~5日前	「大会視聴用ID・パスワード」メール送信
現地開催 8月23日(土) 8月24日(日)	大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市) <u>[重要] 必ず参加証をプリントアウトして持参してください</u>
オンライン参加 8月23日(土)~ 9月17日(水)	※ 期日になれば「全国大会ページ」にアクセスして参加 ※ 大会論文集は視聴ページよりダウンロード ※ 参加企画毎に合い言葉を入力してポイント請求

XIII. 連絡・問い合わせについて

1. 参加証について

第21回大会の参加証(名札)は、各自、PDFファイルをダウンロード、印刷していただき、会場にご持参いただく方を予定しております。参加登録のページから参加証(名札)がダウンロード可能です(8月頃を予定)。別途メールでもご連絡させていただきます。

2. 会場での参加確認

ポイント申請のための参加確認は、参加証記載のQRコードを使用します。会場参加される方は、忘れず、参加証を各自プリントアウトしてご持参ください。

3. 連絡・問い合わせ

日本臨床発達心理士会第21回全国大会運営事務局

E-mail: jacdp21@kohmura.co.jp

【お願い】

例年、大変多くのお問い合わせが寄せられ準備作業に影響がでています。問い合わせの前に、もう一度この案内、また第21回全国大会ウェブサイトをよくご確認ください。スムーズな大会運営にご協力をお願い申し上げます。

「臨床発達心理士」は一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構の登録商標(登録番号第6368253号)です。

XIV. よくある問い合わせ

- 参加申込、発表・企画申込をウェブサイトから行ったが、完了通知メールが届かない。
→完了通知メールは jacdp21@kohmura.co.jp から配信されます。運営事務局からのメールが受信できるようにドメイン等の設定をお願いいたします。また、入力したメールアドレスが正しいことを確認ください。
- プログラム・大会論文集が届かない。
→本大会の冊子体、印刷版論文集は制作いたしません。視聴サイトより PDF 版プログラム・論文集をダウンロードしてください。
- 領収書がほしい。
→参加申込システムから PDF 版のダウンロードが可能です。
- 会場で Wi-Fi 接続はできますか。
→参加者が利用できる Wi-Fi 接続はありません。必要な場合には、各自でご準備ください。
- オンデマンド配信が見られない。
→本大会にオンライン配信を視聴するにはインターネット環境とパソコン等の情報機器が必要です。その準備については各自で行ってください。
- 実践研究発表の連名発表者は更新ポイントを取得できますか。
→連名発表者は、指定された時間において発表会場での発表、議論に参加することで更新ポイントを取得することができます。不参加の場合には、更新ポイントを取得することはできません。
- 大会参加での合理的配慮の提供についてどこで申請できますか。
→大会参加における合理的配慮についての申請や相談は、大会 HP より承ります。